



X線 TV 透視撮影とは

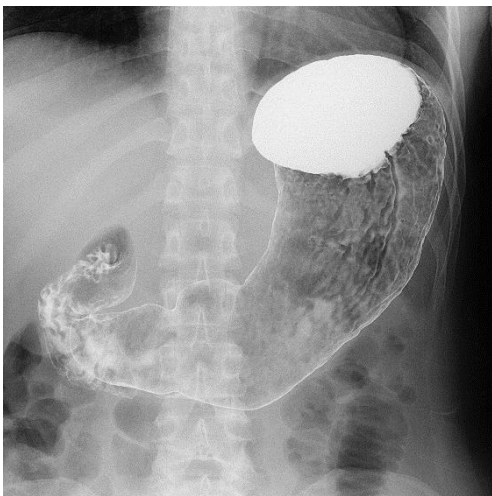
X線を連続に出しリアルタイムに透視画像を見ながら撮影を行う検査です。多くの方に馴染みがあるのは胃のバリウム検査ではないでしょうか。被検者の皆さまはぐるぐる台の上で回され大変だと思いますが、操作側では透視画像を見ながらバリウムの流れや撮影する部位を広く描出するように指示を出し検査をしています。他にも内視鏡と一緒に胆石を取り出す治療や、造影剤を使う血管の検査、骨折した骨の整復に使われたりします。



放射線科の中ではもっとも多く職種と一緒に働く場所で、多い時は6~7人のスタッフが付きます。



代表的な検査



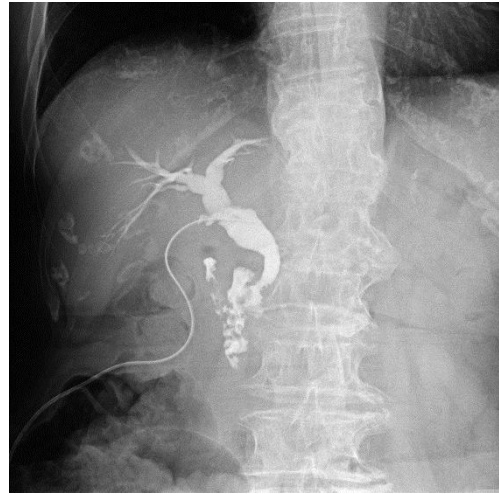
胃バリウム検査



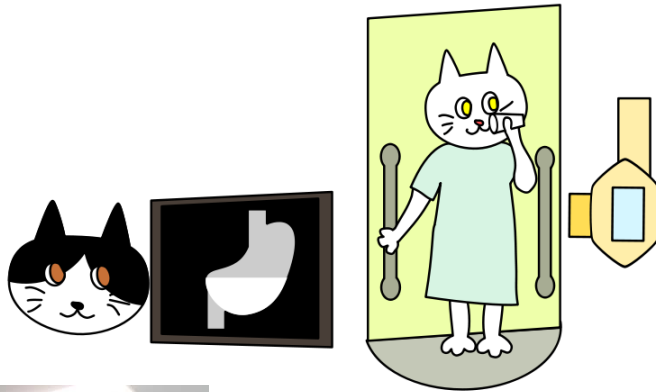
大腸バリウム検査



腹部血管造影検査



PTCD（胆管膵管検査）



装置が新しくなりました。今までの装置と比べ X 線による被曝の量が低減されます。また透視画像をビデオのように保存ができるようになりました。これにより実際に動いている様子を保存でき、より機能的な評価を行うことができます。